

おはなし会・えほんのじかん

現在、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止しております。
再開が決まり次第、お知らせいたします。

としょかんからのおねがい

～新型コロナウイルスにならないよう、つぎのことをまもってね！～



としょかんのなかでも、しっかりマスクをしましょう。

てあらい、しょうどくをこまめにしましょう。



おともだちとのかんかくをあけましょう。



みんなのとしょかん

こどもしつだより

No. 242 令和2年9月
あげおしとしょかん

かがく科学っておもしろい



みんなは「科学」って聞いて何を思い
うかべる？好きかな？きれいかな？
なんだかむずかしそう・・・とおも
かな？

「科学」って私たちの身の回りにたくさん
あるんだよ。毎日の生活の中で「なんでだろう」
「どうしてだろう」と思うことあるよね。
そう思ったらぜひ調べてみて。それが「科学」
の第一歩だよ。

今回の展示は「科学の本」を集めてみたよ。

みんなが不思議に思っていること、知りたい
ことを調べるのに役立つ本もあるから、
手に取ってみてね。





かがくのほん



「ようこそ!葉っぱ科学館」 多田 多恵子/写真・文

少年写真新聞社 (471)



葉っぱをよーく見てみよう! いろんな葉っぱがあるよね。ギザギザの葉・赤い葉・においのする葉…。葉っぱは生き残るためにいろいろ工夫をしているみたいだよ。この本を読んでみたら、身近な葉っぱの知恵がわかるかも!?



「カブトエビの寒い夏」 谷本 雄治/文 岡本 順/絵 農文協 (Fタニ)

小学5年生の耕平は、ある日田んぼで「生きた化石」といわれるカブトエビを見つけました。

友達や先生、大人たちもまきこんで、カブトエビを育てます。そんな中、記録的な冷夏となり、米がとれず町中パニックに…。

自然の大きな力を思い知らされます。



「みずとはなんじゃ?」 かこ さとし/作 鈴木 まもる/絵 小峰書店 (Eミ)



みずは生きていくうえで必要でとても大切なものです。顔を洗う「みず」、飲んだりする「みず」、草や花にあげる「みず」…。「みず」とは一体どんなものでしょう。あらためて考えてみませんか? かこさとし先生さいごの絵本。

「プラスチック惑星・地球」 藤原 幸一/写真と文 ポプラ社 (519)

「水のわくせい」と呼ばれてきた地球ですが、今はまるで「プラスチックわくせい」です。プラスチックを使い、人間はべんりな生活をおくっていますが、さまざまな動物たちの命をおびやかしています。わたしたちはこれからどうしていくべきか、考えるきっかけとなる本です。



「宇宙への秘密の鍵」 ルーシー・ホーキング/作 スティーブン・ホーキング/作

さくまゆみこ/訳 岩崎書店 (F9 ホキ)



ジョージは隣に住む科学者エリックと娘のアニーと知り合い、スーパーコンピューターのコスモスを使って、本物の宇宙を見ながら星について教えてもらいます。ある日、アニーと宇宙空間へ飛び立ち…。宇宙のことがわかりやすく書かれています。



「せいめいのれきし」 バージニア・リー・バートン/文・絵

いしい ももこ/訳 まなべ まこと/監修 岩波書店 (Eセ)

考えられないほどの大昔、太陽が生まれ、やがて地球が生まれ、その地球にやがて生物が生まれます。生物は進化しながら現在へとつながっていきます。はるか昔から現在までの壮大な舞台のはじまりはじまり!

